

島々宿より徳本峠を経て霞沢岳（2646m）

2014年7月20日(日)～21日(月)

メンバー：L磯部N(記)、常楽

1日目：曇り時々晴れ

かつて、ウェストンも歩いたという島々から、徳本峠までのコースがずっと気になっていた。
21日にむけて、天気が好転することを祈りつつ出かける。

この徳本峠越えのクラシックルートは、よく整備されていて、沢の渡渉が何度かあるが、大抵は丈夫な橋が架かっている。

島々にはバス停から歩いて15分くらいの所に20台ほど駐められる駐車地があるので、そこで仮眠して歩き出す。

コースの半分以上が沢沿いのコースで、樹林下でもあって涼しい。道標も随所にあるので安心だが、距離は長く、このところの大雨で増水していたので、流れも速く、登山道もぬかるんでいる箇所がいくつもあった。



随所にこんな橋が架かっている

沢から離れると一挙に300mほどの登りがくるので、最終水場の（ちから水）で2Lずつ確保して峠を目指す。

この重さが疲れた足にこたえて磯部Nは、残り1KMがへろへろだった。



水量多く、冷たくておいしかった

徳本峠のテント場は、予想に反して賑わっていた。

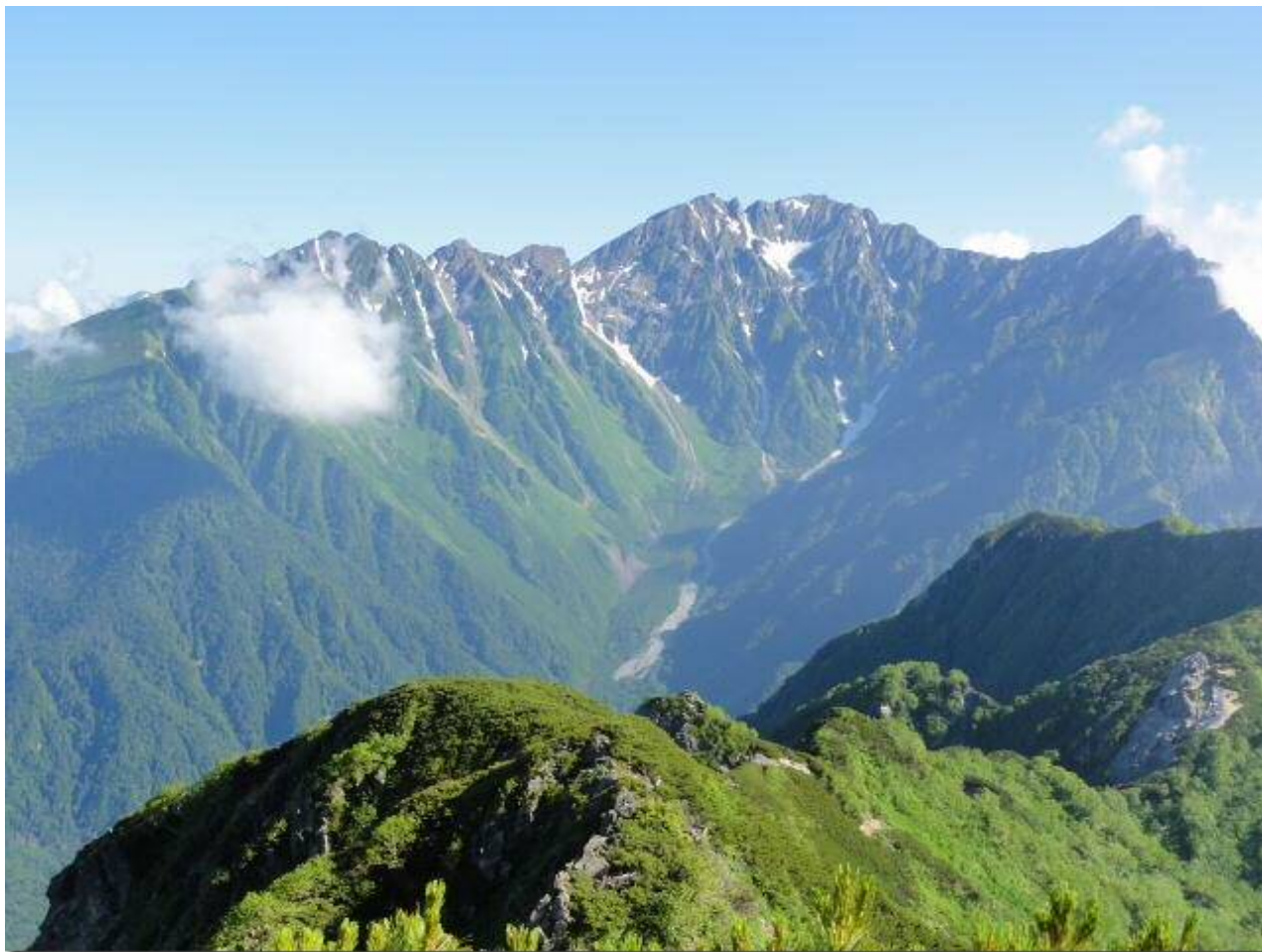


徳本峠のテント場

2日目：晴れ

朝、ヘッドランプで4時に歩き出す。まだ、暗い。徐々に朝日が登り初め、ジャンクションピーク（J P）への途中でご来光が樹間から見えた。

J Pからはぬかるみをだらだらと下って、再び急な登りを越えるとP 2へでる。再び下って、最低鞍部までJ Pから200M近く下がり、ようやくK 1の登りに入る。登りはすべて段差のある急な道で体力の消耗が著しい。他の登山者に励まされつつ、ようやくK 1へたどり着く。



K 1 からの穂高の雄姿・カッコいい！

稜線へ出てもアップダウンが続くが、今までの比ではなく、K 1 を越えて霞沢岳まで他の登山者と前後しながら頑張る。
お花畑も広がって、穂高の山並みを眺めながらの気持ちのいい道だ。



山頂直下にシナノキンバイの花畑が広がる



まさに、 たどりついたという感じの霞沢岳

先が長いので、ゆっくりもできず、下山開始。下って、のぼって、下って……
ようやく、徳本峠へ帰ってきた。しばらく、休憩の後、テント撤収して下山。



人がなくなった徳本峠

徳本峠から明神までは実に歩きやすい道だった。
梓川沿いを上高地まで歩き、予定通り、16:45のバスで島々まで戻り車を回収。

天気に恵まれ、念願叶い、うれしい帰路となった。

<タイム> 20日 島々駐車地(5:35)－二股(7:20)－ちから水(12:12)－徳本峠(13:50)
21日 徳本峠(3:50)－ジャンクションピーク(5:00)－K1(7:50)－霞沢岳(8:40)
－K1(9:40)－徳本峠(13:05～13:50)－明神(15:16)－上高地(16:20)

以上